

経営理念、新たに



Since 2026

- 特集1 令和7年度決算を振り返る
- 特集2 組合長選任のごあいさつ
笑顔と挑戦で豊かな未来へ
- 特集3 経営理念で未来は変わるのか?
言葉に込めた、私たちの農協のこれから

三ヶ日町農業協同組合

2026
6・7



HP



LINE

笑顔と挑戦で未来へつなぐ 豊かな農のまち三ヶ日を共創します

次の三ヶ日を今から

20年後、30年後の三ヶ日は、どんな姿になっているでしょうか。

人口、気候、暮らし、地域のつながり。農業と地域を取り巻く環境が大きく変わるなか、未来を成り行き任せにはできません。“豊かな農のまち三ヶ日”を次の世代へつないでいくために、何を大切に、どこへ向かうのか。その歩みの道しるべとなるのが「経営理念」と呼ばれるものです。

6月24日の第65回通常総代会を経て、JAみっかびは新体制となりました。あわせて、この「経営理念」が刷新されました。

「笑顔と挑戦で未来へつなぐ 豊かな農のまち三ヶ日を共創します」

これは、役職員だけのための言葉ではありません。組合員の皆さま、地域の皆さまと力を合わせ、これからの三ヶ日を共につくっていくための約束です。今号は新役員より、理念を見直した理由と、言葉に込めた思いを紹介しています。(P4より関連ページ)

7月15日から各支部で開く座談会でも、皆さまの声をお聞かせください。日頃感じていることや、これからの農業・地域への思いを伺いながら、新しい理念を日々の行動につなげてまいります。



令和7年度決算を振り返る

6月24日の第65回総代会で令和7年度事業報告と今年度の計画を含む全9議案が承認されました。詳細は「協同のあゆみ」に記載してありますので、その概要についてご報告申し上げます。



総代数365人 出席362人(本人出席222人、代理出席11人、書面129人) 附帯決議案を含む全9議案が承認された



挨拶する井口義朗組合長



事業報告する森田泰行専務



役員選任に伴う投票が行われた



特別表彰:(右から)榎田奈津子さん(平山)(有)渡邊(大福寺)、高橋誠さん(只木)



優良組織表彰:ジュー・サポート(本坂地区)



購買事業優績支部表彰:代表・只木支部

4大事業の主な実績



農協4大事業の成果

信用事業…年金契約口座の積み上げ等に取り組みましたが、金利の高い投資商品のニーズが高まり、貯金残高は減少しました。貸出金については目標を上回りました。

共済事業…総合保障の充実に努めました。生命系共済の払込終了と、満期により長期共済保有高が減少しています。

購買事業…生産購買は摘果剤の取り扱い減少しましたが、殺虫剤や除草剤が増加しました。生活購買では自動車の納期遅延が解消され、新車を中心に販売台数が増加しました。

販売事業…ミカンは果実内容・外観ともに最高水準に仕上がりました。全国生産量は前年を上回りましたが、三ヶ日みかんの果実内容の良さが販売を下支えしました。ただ、裏年の影響で取扱数量、取扱高ともに前年比で減少しました。特販課では、ECサイトを中心に上位等級の取り扱い数量の増加や新たなミカン規格の導入により、前年実績を上回りました。

財産の状況 健全経営

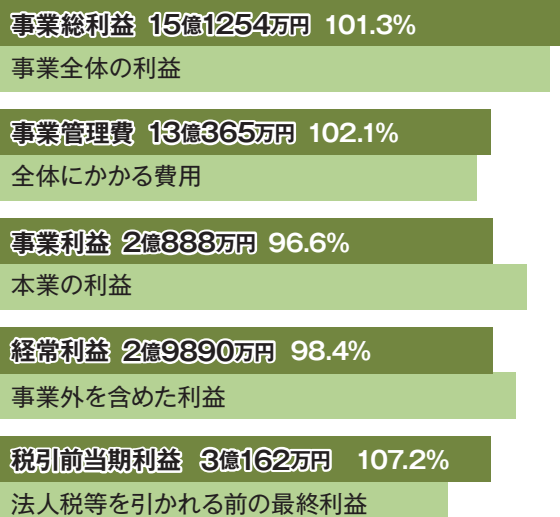
財務の安定を示す自己資本比率は30.21%と最低自己資本比率の4%を大きく上回っています。

収支は減益

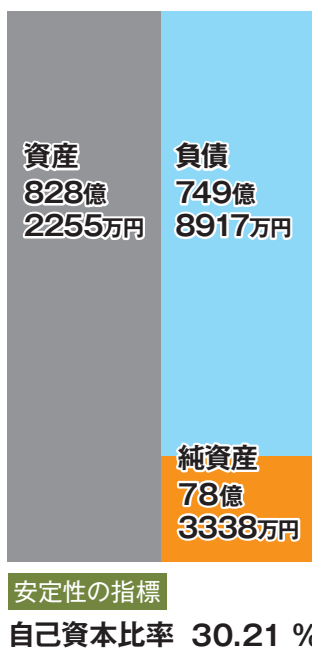
事業総収入から事業総費用を引いた事業総利益

R6 R7

農協の収支



財産の状況 貸借対照表



剰余金の行方 事業分量配当金の継続

令和7年度末における当期末処分剰余金のうち2億3095万円を繰越しさせていただきました。

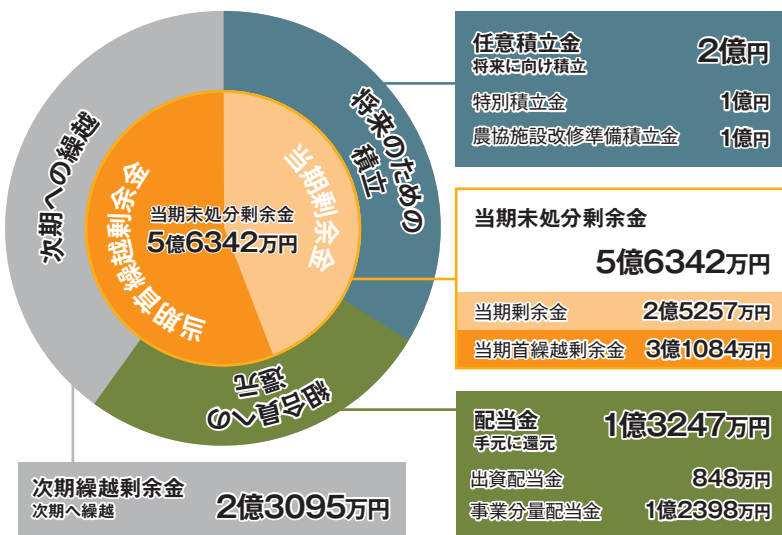
事業分量配当金は、金利上昇による還元、共済加入者サービスの見直しに伴う増額を行い、総額1億2398万円を利用に応じてお戻しさせていただきました。

第十六次3か年計画初年度

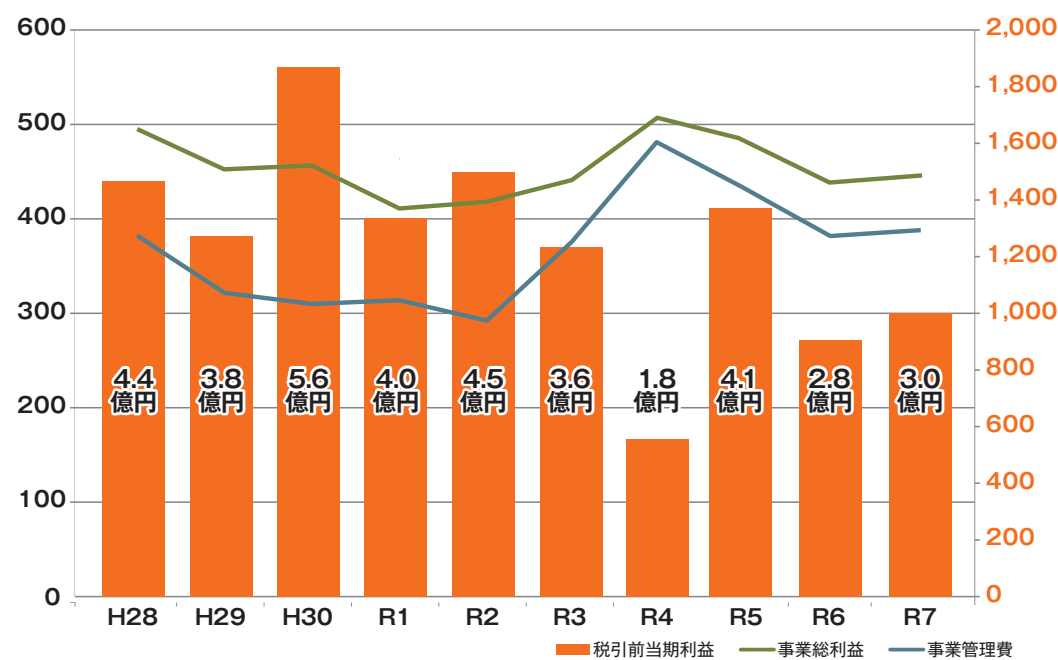
令和7年度は第十六次3か年計画の初年度でした。国際情勢の不安定さが世界経済に影響を及ぼし、地政学的リスクやエネルギー・資源価格の動向に留意を要する一年となりましたが、事業実績は当初の計画を上回ることが出来ました。異常気象における持続可能な農業、国際情勢を踏まえた農協の安定経営など課題を再認識しました。

令和8年度は第十六次3か年計画「農業と地域の未来をつむぐ協同の力」の2年度になります。変化の激しい社会環境ではありますが、必要とされる農協であり続けられるよう、さらなる農業振興、経営の健全性に努め、事業計画を確実に実践してまいりますので、組合員皆さまのより一層のご利用、ご協力を心よりお願い申し上げます。

剰余金の行方



過去10年の経営成績推移



※数字はすべて下の位を切り捨て表記しています。

新経営理念のもと、共に考え行動する

笑顔と挑戦で豊かな未来へ

組合員の皆さまには、日頃より農協事業に深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

第65回通常総代会において役員選任のご承認をいただき、同日総代会後の臨時理事会にて代表理事組合長に選任されました。長年にわたり本組合を支え、発展へと導いてこられた歴代役員をはじめ、組合員の皆さま、地域住民の皆さま、そして役職員の皆さまに深い敬意と感謝を申し上げます。

「小さい農協だからこそできること」 農協の可能性を次代へつなぐ

私は、この歴史と伝統ある三ヶ日町農協の舵取りを任されたことに、大きな責任と使命を感じて

います。同時に、私たちの農協にはまだまだ大きな可能性があり、その可能性を次の時代へつなげていくことが私の役割であると考えています。

現在、農業を取り巻く環境は非常に大きく変化しています。農業者の高齢化や担い手不足、世界情勢による資材価格の高騰、気候変動による生産への影響、さらには人口減少による地域経済の縮小など、課題は年々複雑さを増しています。

一方で、安全・安心な国産農産物への期待や地域農業への関心の高まりなど、新たな機会も生まれています。このような時代だからこそ、農協には組合員の暮らしと経営を支え、地域の未来を切り拓く役割がこれまで以上に求められています。

三ヶ日町農協は、30年前に合併を辞退して以来ずっと、単独農協として経営を継続してきました。その間、多くの困難を乗り越えてこられたのは、農

未来への種まきするとき

新しい経営理念の策定

今回、未来に向けて新たな経営理念を策定しました。今後の三ヶ日町農協の指針となるのが、

「笑顔と挑戦で未来へつなぐ
豊かな農のまち三ヶ日を共創します」

この理念には、農業と地域の未来を守り育てるために、私たち一人ひとりが笑顔を大切にしながら、新しいことにも果敢に挑戦し、組合員、役職員、そして地域住民の皆さんと力を合わせて豊かな三ヶ日を創り上げていくという思いを込めています。

農協は役職員だけで運営するものではありません。組合員こそが農協の主役であり、地域の支えがあつてこそ発展があります。これからは、あらためて組合員との対話を重視し、現場の声を大切にしながら、皆さんと共に考え、共に行動する農協経営を進めてまいります。

私たちは今、先人たちが築き上げてきた農業と地域社会を受け継いでいます。その財産を守るだけでなく、さらに発展させて次世代へ引き継ぐことが私たちの使命です。20年後、30年後の三ヶ日を見据えたとき、若い世代が希望を持って農業に取り組み、この地域で暮らしたいと思える環境を整えていかなければなりません。



4月3日経営計画発表大会では、新しい経営理念策定について説明

協と組合員との団結があつたからこそだと思っています。これからも「小さい農協だからこそできること」を大切にしながら、組合員の皆さんに必要とされ、地域から信頼される、なくてはならない農協づくりに全力で取り組んでまいります。

私は、「豊かな農のまち三ヶ日」の実現に向けて、自信を持って次の世代へバトンタッチできる農協づくりに挑戦したいと考えています。そのためには、農業所得の向上はもちろん、地域産業との連携、担い手育成、地域コミュニティの活性化など、幅広い視点で取り組む必要があります。一朝一夕に実現できるものではありませんが、今を生きる私たちが、未来への種をまかなければ、豊かな実りを迎えることはできません。

三ヶ日には全国に誇れる農業と豊かな自然、そして温かな人のつながりを持つ地域としてのブランド力があります。この素晴らしい地域資源を最大限に生かしながら、農業の魅力を高め、地域全体が元気になる取り組みを進めてまいります。

「笑顔と挑戦」の精神で

未来を切り拓く

組合員の皆さん、役職員の皆さん、そして地域住民の皆さんと心を一つにし、「笑顔と挑戦」の精神で未来を切り拓いていきたいと思えます。魅力ある農協、魅力ある地域を目指し、全力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さんと共に、三ヶ日の明るい未来を創り上げていくことをお誓いし、新組合長就任のご挨拶といたします。

笑顔と挑戦で未来へつなぐ

豊かな農のまち

三ヶ日を共創します

代表理事組合長
森田 泰行



役員改選 新体制でスタート

第24期 新役員あいさつ

代表理事専務



河西 佳宏 【地区】津々崎

自分たちの農協を育てる

この度の役員改選にて、第24期三ヶ日町農協の代表理事専務に就任いたしました。

伝統ある三ヶ日町農協の経営に携わる大役を拝命し、その責任の重さを改めて感じております。森田組合長をサポートし、組合員の負託に応えられるよう、誠心誠意努めてまいります。

私はこれまで、生産者として農協に関わってまいりました。その中で強く感じていることは、農協は「信用と信頼」で成り立つ組織であるということです。これは先人の皆さま

が長年にわたり築き上げてこられたものであり、三ヶ日ブランドを支え、単独農協としての歩みを今日まで支えてきた大切な礎でもあります。その歴史と伝統を受け継ぎ、次の世代へつないでいくことが私たちの大切な役割であると考えております。そのためにも、組合員との信頼関係を何より大切にしていかなければなりません。新たな経営理念に掲げた「笑顔」を大切にしながら、組合員に親しまれ、信頼される農協を目指してまいります。

一方で、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。気候変動や生産資材価格の高騰に加え、担い手不足も深刻な課題です。これまで当たり前前に続けられてきた農業を引き継いでいくことが、決して容易ではない時代を迎えています。

こうした状況の中にあっても、産地を守り発展させていくためには、これまでの伝統と産地の強みを大切に受け継ぐとともに、新たな技術や考え方を積極的に取り入れ、「挑戦」を重ねながら将来につながる産地づくりを進めていかなければなりません。その実現には、組合員と役員が互いに理解を深めながら、力を合わせて取り組んでいくことが大切です。私自身も一人の組合員として農業者目線を忘れることなく、組合員との対話を大切にしながら、職責を果たしてまいります。

役員一丸となつて、三ヶ日町の農業と地域の発展に取り組んでまいりますので、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

常勤監事

健全で持続的な
組合運用を

長坂 芳達
【地区】長根



総代会において監事にご選任いただき、同日就任いたしました。
農協、農業を取り巻く環境がますます厳しくなるなかで、たいへん重い責務を担わせていただくこととなり、身の引き締まる思いです。
農協の運営に関して、これまでの行政職員としての職務経験を生かし、コンプライアンスの実践、内部統制の的確な運用に注視しつつ、健全で持続的な成長と組合員の皆さまの信頼に応え得る良質なガバナンスに資することができるよう、誠実に責務を果たしてまいります。

理事金融共済部長

農協の役割を果たし
持続可能な発展へ

二橋 厚仁
【地区】大崎西



総代会にて信用事業専任理事（金融共済部長兼務）に選任され、同日就任いたしました。
この重要な局面において責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。
変動する金融環境、人口減少、少子高齢化に加え、農業・農協を取り巻く環境が大きく変化する中、農協の役割を果たすべく、組合員の皆さまとともに持続可能な発展に向けて、微力ながら一層精進してまいります。組合員の皆さまには、今後ともご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

監事



代表監事
片山 雅光
【地区】宇志



員外監事
松井 小織
【地区】員外

理事



外山 文子
【地区】平山



大野 和好
【地区】北平



山崎 仁也
【地区】長根



副委員長
山本 義幸
【地区】只木



委員長
河西 眞吾
【地区】鶴代

総務・金融共済委員会



尾藤 正枝
【地区】大福寺



大野 徳子
【地区】佐久米



河合 和弘
【地区】日比沢



副委員長
石川 嘉一
【地区】上尾奈



委員長
大野 欣亨
【地区】新田

営農経済委員会

新経営理念のもと 時代に対応した農協に

前代表理事組合長 井口 義朗

平素より、農協事業に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、私は令和8年6月24日をもって、代表理事組合長の職を退任することとなりました。平成26年6月の総代会において代表理事専務の承認をいただいて2期、令和2年代表理事組合長の承認を経て2期の併せて4期12年の間、組合員はじめ関係各位の皆さまには多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

最大のミッション、新選果場建設

振り返りますと、当農協において職員からスライドして役員になる前例は無く、家族会議において反対され、故中川御大他諸先輩方にも叱咤をいただき

思い悩む中、推薦会議の方々や師と仰ぐ方から背中を押され、苦渋の決断で重責をお引き受けしたことを思い出します。

当時最大のミッションは新選果場の建設でした。選果場の建設に二度関わったのも私しかないのでとは思いますが、前・後藤善一組合長の率先垂範の元、数年の要請活動の結果、浜松市、西部農林事務所、静岡県庁、関東農政局とのつながり、さらには浜松市議会議員久米丈二先生、静岡県議会議員鈴木利幸先生、国会議員城内実先生はじめ大勢の皆さんの強固な連携により、80億円余の事業費に対し、当初計画を上回る補助金を得て支障なく建設、稼働するに至ったことは何よりうれしく思います。一年遅れていたら数億、数十億円の事業費増であったことを考えると、絶妙のタイミングであったと痛感します。しかし、建設当初予測していた生産量3万トンを超えて初年度稼働以降、一度もクリアできていないことは懸念されます。公正取引委員会の指導もありましたが、三ヶ日みかんブランドは、今できたものでなく、長い歴史の上に築き上げてきたものであることを熟知して、胡坐をかかず生産量の集結をお願いしたいと切に思うところです。



みんなの農協、我が農協

「単独農協としての歩み」

令和2年新選果場起工に合わせて組合長に就任をさせていただきましたが、スタートから新型コロナウイルスの感染拡大により、慣例行事等がことごとく自粛となり、飲食、出張、会議の開催が激減しました。さまざまな面で見直し整理をする良い機会となると同時に、明らかに時代が変化していく様を垣間見る結果となりました。単年度であれば元に戻ることもありましたが、長期化すると平常になっても元には戻れない事実も痛感いたしました。ダーウィンの言葉「唯一生き残ることができるのは、変化できる者である」の通り、時代の変化に素早く反応していかなければなりません。意識はしていつ、私がそうであったかというのはいささか疑問です。



様々な変化はありますが、不変なのは「農協事業

分量（農協の大きさ）は平均経済活動量（個々の組合員の事業量）×組合員数×利用率」を言い続けてきました。任期中に隣接するとびあ浜松の合併30周年記念式典に参加させていただきましたが、30年の間に日本一の経営内容を誇る農協に発展しました。それと並行して合併を辞退した当農協も30年単独で来ることができました。それは、組合員数が減少する中で、個々の平均経済活動量が大きくなったことと利用率を維持してきたことに他なりません。組合員の皆さまの鋭意努力の結果だと思えます。感謝申し上げますとともに、みんなの農協、我が農協という思いが少なからずあつてこそその成果だと思えます。

「あいさつ、きれい、雰囲気」の継承を

今後、生成AIが想像以上の速さで進化すると専門家も言っております。ホワイトカラーの職業は淘汰されるかもしれません。しかしながら、農業・農協にはAIが介入できない領域がたくさんあると思います。原点は人と心です。AIでは災害を予測できるかもしれませんが、対応はできません。相互扶助もありません。農村の良さはそれなりにあります。三ヶ日町にはそれ以上の良さがありません。是非、その良さをみんなでPRできたらい良いと感じています。



就任以降、職員に言い続けてきたのは、「あいさつ、きれい、雰囲気」「正直、誠実、他人への配慮」そして「不祥事を起こさない」です。故中川師より「あいさつと笑顔はお金のかからない最大の組合員サービス」と教育されてきました。継承し、伝えたつもりですが、まだまだ浸透できず申し訳なくお詫び申し上げます。

本年は60年に一度の丙午、正午を午の刻、それよりは前、午前は午前、午後は午後というように変化の年です。

三ヶ日町農協の経営理念も一新しました。新組合長・新専務の元、新体制でこの激動の中、経営理念に基づいて役員、組合員一丸となって盛り上げ、時代に対応し、三ヶ日町農協が益々繁栄しますことを祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。



経営理念で未来は変わるのか？

言葉に込めた、私たちの農協のこれから



笑顔と挑戦で未来へつなぐ

豊かな農のまち三ヶ日を共創します

6月24日の通常総代会をもって、新体制に。7月1日から「経営理念」を刷新しました。経営理念は、本来そう簡単に変えるものではありません。では、なぜ今あらためて見直したのか。そして、言葉を変えることで、いったい何が変わるのでしょうか。

三ヶ日町農協には、これまでも理念がありました。「夢と希望に満ちた緑豊かな地域づくりを目指します」。三ヶ日の地域を大切に、農業を通じて豊かなまちをつくる——その思いは今も変わっていません。今回の見直しは、これまでを否定するものではありません。ただ、これから先、たとえば20年後の三ヶ日を思い描いたとき、農業も地域も大きく変わっていきます。担い手、気候、販売、デジタル化、組合員との関わり方。そうした現実を一つひとつ見つめ直し、進む方向をもう一度はっきりさせる。設立以来受け継いできた思いはそのままに、今の時代に合う言葉で、分かりやすく定め直しました。

理念をなぜ見直したのか

経営理念とは、その組織が何を大切に、何のために存在し、どこへ向かうのかを示すためのものです。この理念をもとに、長い先の将来像を描き、数年先の目標を立て、毎年の計画に落とし込んでいきます。そして最後は、窓口での応対や営農の相談など職員の日々の仕事の土台になります。それはつまり、私たち農協が組合員の皆さんとどう向き合っていくか、という約束でもあります。遠いところにある立派な言葉ではなく、皆さんの毎日の関わりに根っこを持つ考え方です。

そもそも、経営理念って？

人事異動 (6月24日付)

- 組合長直轄監査室 室長 渡邊知穂(同室長補佐)
- 総務部 部長 大野達也(生活経済部長)
- 金融共済部 理事金融共済部長 二橋厚仁(組合長直轄監査室長)
- 営農柑橘部 部長 縣裕一(総務部長)
- 生活経済部 部長 伊藤篤(営農柑橘部長)

()は旧部署名と役職

支部長



前から 三列目	新 田	南 平	西 平	野 地	北 平	大崎東	大崎南	大崎西	大谷	佐久米	駒場		
	藤田 幸伸	山田 英雄	石原 正和	縣 徹	大野 隆弘	鶴見 一好	坪井 和典	二橋 元治	和田 祐一	加藤 雄司	加藤 基晴 (副会長)		
前から 二列目	御 菌	摩訶耶	只 木	大福寺	長 根	平 山	釣	日比沢	本 坂	鶴 代	下尾奈	上尾奈	
	竹上 和也	山本 直英	高橋 誠	清水 栄博	清水 一則	加藤 長洋	松井 弘之	石田 雪二	竹平 智範 (会長)	河西 宏始	外山 真久	外山 昭博	
前から 一列目	上 神	下 神	西 町	東 町	西 天	理事金融 共済部長	代表理事 組合長	代表理事 専務	常勤監事	東 天	宇 志	津々崎	岡 本
	中野 源護	前原 敏明	桐生 美弘	牧野 誠史	二橋 覚	二橋 厚仁	森田 泰行	河西 佳宏	長坂 芳達	久米 文明	中村 伸佳 (副会長)	河西 正志	夏目 利洋

役員退任挨拶

前常勤監事

中村 眞子



皆さまのご支援に感謝して
長きにわたり農協職員としてお世話になり、令和5年からは学識経験監事として就任し、1期3年を経て、6月24日に行われた通常総代会にて退任いたしました。これまで組合員の皆さまからの暖かいご支援をいただき、監事としての務めを通じて組合活動の理解をより深めることができたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

前理事金融共済部長

久米 孝征

【地区】 宇志



今後の三ヶ日町農協のさらなる発展を
6月24日の総代会をもちまして、1期3年の役員を退任し、あわせて約40年にわたる職員生活を終えることとなりました。長きにわたり組合員の皆さまから賜りました温かいご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。今後の三ヶ日町農協のさらなる発展と、お世話になりました皆さまのご健勝・ご多幸をお祈り申し上げ、退任・退職のあいさつとさせていただきます。



合併の是非についての座談会。
平成5年に合併を辞退し、単独の道を選んだ

経営理念は、決めて完成するものではありません。組合員の皆さんに知っていただき、役職員に根つき、日々の判断や行動に表れて、はじめて意味を持ちます。理念を新しくしても、明日からすべてが急に変わるわけではありません。それでも、目指す方向ははっきりします。笑顔で寄り添っているか。必要な挑戦ができているか。共につくる姿勢になっているか。三ヶ日の未来につながっているか。この問いを、私たちは日々、確かめ続けていきます。

宣言しただけでは、ただの言葉



農協支部座談会の様子。昭和20年代から続く

7月15日から28日まで、各支部で座談会を開きます。これは、理念に掲げた「共創」を実践する大切な場です。事業の報告を聞くだけでなく、皆さんと一緒に、これからの農協と三ヶ日を考える場です。日ごろ感じていること、困っていること、「こうだったらいいな」と思うこと。どんなことでも構いません。あわせて、三ヶ日の農業や地域のこれからについても、皆さんの思いをぜひ聞かせてください。いただいた声は、これからの取り組みに生かしていきます。JAポータルでも受け付けています。

支部座談会で
皆さまの声をお聞かせください



この理念は、現場の声から生まれました

新しい理念の四つの言葉は、職員の声から集めた約110のエピソードから生まれました。日々、組合員の皆さんと接するなかで感じたこと。そのいくつかを紹介します。

〈声① | 笑顔〉

いつもの笑顔が

窓口で忙しくしていたとき、組合員の方から「ずいぶん難しい顔をして仕事をしているね」と声をかけられました。その一言で、自分が笑顔を忘れていたことに気づきました。数日後、同じ方から「いつもの笑顔が戻ったね」と返してもらえました。

〈声② | 挑戦〉

初めてでもみんなで

若い生産者でつくるファーマーズクラブの皆さんと、職員が一緒になって三ヶ日みかんをPRしたことがありました。初めての試みでしたが、組合員と職員が同じ目標に向かえば、一人ではできないことも実現できる。農協という組織の意味を、あらためて感じました。



〈声③ | 未来〉

ひとつの仕事がつなぐ先

一つひとつの仕事に、誇りを持って向き合う。それが誰かの力になり、明るい未来につながっていく。そう信じながら、日々の仕事に向き合っています。

四つの言葉に込めた意味



信頼を育てる原点

三ヶ日町農協の強みは組合員との距離の近さです。この関係を将来につないでいくためには、役職員一人ひとりが常に笑顔で組合員に寄り添う姿勢を持ち続ける必要があります。

笑顔は全ての活動の原点です。笑顔があるからこそ人がつながり、信頼が生まれ、その積み重ねが組合員から信頼されるための基盤です。



守るために、 新しい価値を生み出す

三ヶ日町農協はこれまで挑戦を続けることで幾度となく困難を乗り越え、発展してきました。

先行きが不透明な時代のなか、私たちは従来の延長線上ではなく現実を見据え、役職員一人ひとりが主体的に新たな価値の創出に挑み、農業・人・地域を次世代へつなぐ役割を果たさなければなりません。



組合員と役職員が、 共に地域をつくる

農協は組合員によって成り立つ組織です。そのため、「共創」という言葉に象徴されるように、組合員と農協が一体となり、それぞれの力を持ち寄ることで、持続可能な農業と地域の発展を実現していかなければなりません。



明日がもっと楽しみになる三ヶ日へ

三ヶ日町農協が目指す未来とは、担い手が希望を抱く豊かな農業が営まれ、地域の人々が安心して暮らし続けられる「豊かな農のまち三ヶ日」の実現です。

三ヶ日という地域の価値を守り、さらに高めながら「三ヶ日ブランド」を次世代へと確実につないでいくため、三ヶ日町農協は農業と地域の持続的発展を支え、組合員と共に歩み続ける存在であり続けます。

農協に自動車整備工場を！ 農青連の声で「くみあい整備工場」実現

高度経済成長期を迎え、自動車時代の到来を見越した農青連盟友から農協に自動車整備工場建設を求める声が上がりが始めた。農青連組織が一致団結して組合員アンケートを実施、多くの組合員の賛同を得て昭和43年4月「くみあい整備工場」がオープンした。農青連盟友と組合員、そして農協が一体となって実現させた整備工場はやがて地域に欠かせない工場に発展した。

昭和45年は農青連運営の一つの転換期だ。当初農家の後継者が大多数だった盟友もサラリーマン盟友の割合が増え、従来のように盟友一丸となっていた一つの目的に向けた事業展開が困難となってきた。この年から業種別の会合を農青連独自の自主グループで開催、農協も業種別の経営指導に踏み切った。外国からの農産物輸入自由化の波など農業情勢が激変するなか、農青連では学習活動を強化し、経営力向上のため青色申告の記帳に全盟友が取り組むなど自分達の経営基盤の確立に努めることが活動の主軸となっていた。

昭和50年には盟友の7割が兼業農家となった。今までの実績から、農青連組織の姿を維持することは大切だが、時代の流れをふまえ「盟友相互の和」を最重点に事業を行うことが活動の中心となっていた。



昭和42年くみあい整備工場起工式



昭和45年の農青連による肥料配合の様子



昭和47年頃のくみあい整備工場



昭和44年有線放送会館前に農青連が記念植樹

農青連の歴史(1966～1975年)

- 昭和41年**
6月 婦人部との合同会議
10月 集中豪雨の被害甚大、集中豪雨整理応援出動
- 昭和42年**
3月30日 自動車整備工場建設要望農青連より出る、理事会で検討
5月5日 整備工場アンケート調査
12月2日 くみあい整備工場起工式
- 昭和43年**
1月19日 盟友海外研修、青年の船参加
3月14日 くみあい整備工場竣工式
- 昭和44年**
12月17日 農青連盟友全国大会後継者育成成功労優秀賞受賞
- 昭和45年**
1月 支部座談会、各支部巡回事業別グループ会(柑橘、畜産、園芸、兼業)
- 昭和46年**
1月18日 農村農協を語る会
10月15日 県連盟20周年記念盟友大会
- 昭和47年**
6月10日 理事会傍聴、以後定例会参加
26日 営農学校開講式
10月20日 第21回県連盟大会終了後、農業危機突破デモ行進
12月25日 東急ミカン園の採集応援
- 昭和48年**
5月16日 果汁自由化反対全国大会
- 昭和49年**
10月9日 西ドイツ青年研修16名参加
- 昭和50年**
2月25日 柑橘受託班結成18名
6月26日 農青連20年史編集委員会

※アーカイブ (archive) とは、古い記録やデータを長期的に保管しておく場所や機能を指す言葉です。デジタルアーカイブとは、紙媒体をデジタル化し、長期保管や検索しやすくするためのものです。



「巨組ゆうしゅつ」
うれしい
ジャンプした

うんどつかい
ドキドキ
へいかいしき
だいじょうぶかな
ドキドキ

三ヶ日西小学校 4年生
藤山陽向



ぼくの詩
わたしの詩

職員通信



農産センターで米・イチゴ・ブドウ・花き部の販売と営農指導、ふれあい市の事務局を担当しています。生産者と距離が近い職場なので、誠意をもって対応し、相手との信頼関係を築くことを大切にしています。趣味は海や川など自然の中で釣りをすることです。

三ヶ日産シャインマスカットが間もなく旬を迎えます。直売所や地元のスーパーで販売しているので、ぜひ味わってみてください。



花木栽培に興味のある方は農産センターにご連絡を！

縣 賢治
特販課 農産センター
入職28年目

三ヶ日町農協アーカイブは公式ホームページでも連載！

紙面で紹介しきれなかったアーカイブの写真や、詳しい記事などはJAみっかび公式ホームページで毎月連載していきます。是非こちらもチェックしてみてください。



農青連の要望で設立された自動車整備工場。昭和48年頃



撮影時に着用したTシャツは輝紀くんが自分で選んだお気に入りの服

さんが作るサーモンのムニエルや焼き魚が好物で、お魚が食卓に並ぶとよく食べるそうです。

GWに家族で「のんほいパーク」に遊びに行き、園内周遊バスに乗ったことと、天浜線の天竜二俣駅で軽便車や列車の洗車を見学したことが楽しかったそうです。

お父さんの真生さんとお母さんの麻木さんは、協調性のある子に育ててほしいと願っています。

担い手 【大崎南】坪井 潤也さん(27)

ミカン・グリーンハウスミカン・シャインマスカット農家

大学を卒業し、22歳で親元就農した坪井さん。家ではお父さんと一緒に温州ミカンとグリーンハウスミカンを栽培しています。自分でも何か一つ新しいことを始めてみたいと、4年前からシャインマスカット栽培に挑戦しています。最初の2年間は樹を育て、ハウスを組むなど施設整備に費やし、昨年からやっと実り始めました。シャインマスカットは水管理をはじめ、細かく丁寧な栽培管理が必要ですが、数か月で実が大きく育つなど成長過程がよく分かるので、楽しいと話します。ただ、大崎地区には農業用水がなく、ハウスの雨水を利用して灌水するなど工夫しているので、農業に携わって、水の大切さを身に染みて感じているそうです。

三ヶ日ぶどう部会で一番の若手である坪井さん。「ぶどう部会の人達がみんな良い人達で、いつもお世話になっている。少しでも良いブドウを作り、三ヶ日産のブドウを多くの人に届けられるように栽培に励みたい。ミカンは父親、ブドウは高平部長など周囲に良い先生がいるので、お世話になっている人達に負けずに良い品質の作物を作っていきたい。自分なりのやり方をこれから見つけて、いずれは父親や先輩農家を追い越して、よりおいしいものを作りたい！」と抱負を語りました。



SUPや草野球チームの試合に参加することがリフレッシュになると話す坪井さん

＜就農予定者へのアドバイス＞

右も左も分からない状態で就農したため、農青連柑橘部やファーマーズに参加したとき、自分だけが無知だと感じる場面があり、勉強は大事だなと思いました。ただ、園地や作物ごとに管理方法は異なるため、身近な父親や先輩農家のアドバイスを素直に受け止め、栽培管理に生かしています。経験者の言葉を聞く素直さも農業には大切だと思います。

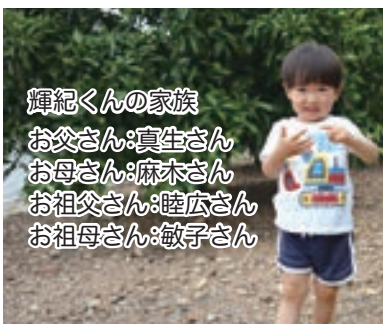


KIDS

【鶴代】河西さん家の



てるき 輝紀くん(2)



輝紀くんの家族
お父さん:真生さん
お母さん:麻木さん
お祖父さん:睦広さん
お祖母さん:敏子さん

おいしいシャインマスカットを
多くの人に届けたい!

6/15~17 年金感謝デー



多くの方が来店した
年金感謝デー

農協金融課と都筑支所で3日間にわたり、農協に年金をお振り込み頂いている皆さまに感謝の気持ちを込めて年金感謝デーを開催しました。合計1,739人の方が来店し、職員が笑顔で粗品をプレゼントしました。



6/6 合同展示会

農機センター、オートパーク、組合員生活課による農協3部門合同展示会が開催されました。会場では新型の農業機械や、スムーズに給油できるガソリン携行缶が注目を集めました。来場特典の三ヶ日みかんソフトクリームも人気でした。



農機のデモ体験をする
参加者



6/19,26 女性部柑橘勉強会 バックホー講習会

農協女性部ふれあい講座「女性部柑橘勉強会」でバックホーの資格取得講習会を開催し、13人が参加しました。同講習会は一昨年も行われ、好評につき二度目の開催です。全員で6月19日に学科講習を受け、25日に技能講習会が農協の旧肥料倉庫で行われました。参加した尾藤正枝さんは「ミカンの改植の際など主人を手伝えるようにと思い、受講した。学んだことを忘れないように園地で活用したい。以前、この勉強会でフォークリフトの免許を取得した。今回も女性部の人達と一緒に地元で受講できて良かった」と話しました。同日、小型特殊車両として同じ免許で乗れるタイヤショベルの実技講習も全員が受講しました。



実技講習に取り組む女性部員



5/27,28,29 くくりワナ講習会

三ヶ日町有害鳥獣駆除対策協議会が主催する、くくりワナ講習会が開催されました。講師はルーツジャパンの岡本浩明代表です。動物の習性を学ぶ座学と、実際にくくりワナを設置する実践を合わせた講習会で、約30人が参加しました。後藤剛会長は「今、食い止めないと被害が拡大するという意識を持つ若い世代の加入が増えており、講習会にも積極的に参加している」と話します。協議会では昨年イノシシ130頭、シカ30頭を捕獲駆除しています。

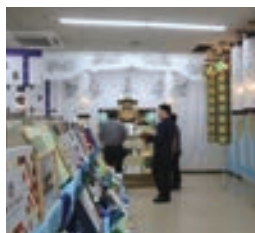


くくりワナを仕掛ける練習を行う参加者



6/10~15 初盆展示予約会

組合員生活課葬祭センターで初盆展示予約会を開催しました。葬祭センター職員が場内を案内し、初盆を円滑に執り行えるよう、お飾りや引き出物、盆供返しなどについて説明しました。



会場はふれあいセンター2階



6/4 フレミズ合同 モルック大会

フレミズ自主活動グループが農協を会場にモルック大会を自主開催しました。フレミズカレッジを卒業した1~5期生と現役6期生が参加した合同活動で、2回目の大会です。総勢14人が4チームに分かれて競い、盛り上がりました。



見事な投球にはみんな大いに
盛り上がった



三ヶ日みかん表年2万7,200トン予測 摘果徹底し安定生産目指す

三ヶ日町農協は「三ヶ日みかん」の着花調査で本年産の選果場取扱量を早生8,500トン、青島1万8,500トン、その他200トン、合計2万7,200トンと予測しました。開花は例年より4日ほど早く、着花量は多めで表年傾向の作柄です。



着花調査では生産者やJA役職員など関係機関の約50人が参加し、5班編成で町内100カ所を調べ、樹勢や花、新梢の発生などを確認しました。その後の検討会で今後の生産対策の協議が行われました。課題は、樹勢や令和9年産につながる新梢の発生が少ないことです。柑橘課では樹の負担を減らし、令和9年産の収量確保につながる新梢の発生を促すため、重点的な摘果を呼びかけます。隔年結果が顕著な生産者には、個別に適切な着果管理を呼びかけていきます。

調査に参加した三ヶ日町農協・森田泰行専務(5月時点)は「今年は表年で収量を確保できる見込みだが、目標は連年結果による安定生産。夏の暑さをはじめ異常気象で樹の負担は大きくなっている。実行力のある営農指導で適切な着果管理を進めたい」と話しました。

2026年産 三ヶ日みかん予測収量 (5月11日時点)

早生	8,500トン	合計 27,200トン
青島	18,500トン	
その他	200トン	



ミカンの着花状況を調べる森田専務(左)(5月時点)

6/9 農薬安全使用 講習会

農協特販課農産センターが農薬安全使用講習会を開きました。農産物を出荷する生産者・ふれあい市出荷者の会会員ら約60人が参加しました。産地全体の信頼に関わる残留農薬違反を起こさないために農薬の正しい知識を持ち、農薬ラベルの内容を遵守し、日頃から対策を行うことの重要性を学びました。



農協本館3Fホールで開催



6/15~29 青空座談会 表年対策を呼びかけ

農協柑橘課が第2回青空座談会を町内25会場で行いました。表年傾向の今年は、適期に適正な摘果を行い、樹の負担を減らし、新梢の発生を促すよう柑橘指導員が各会場で伝えました。



日比沢の会場で実演する杉本指導員



1. 防除

令和8年柑橘病害虫防除暦を参考に実施してください。病害虫が増加してくる時期になるため、園地の観察を徹底してください。

2. 着果管理～摘果スケジュール～

系統	時期	6月	7月	8月	9月	10月	11月
極早生		粗摘果	20枚～25枚	20枚～25枚			
北原早生		樹冠上部摘果		20枚～25枚	25枚～30枚		
早生		樹冠上部摘果	20枚～25枚		25枚～30枚		
青島		樹冠上部摘果		30枚～35枚	30枚～35枚		
		隔年結果是正・樹勢維持	仕上げ摘果		樹上選果		

⚠ 早期の摘果遅れが目立ちます!!

●間引き摘果

7月20日頃、果実が下を向き始めたら間引き摘果を開始します。樹勢や着果量を確認しながら、出荷基準に合わない果実を間引きします。目安は1結果母枝に1～2果、枝の長さでは10～15cmに1果になるよう枝の強さや肥大を見ながら回数等を調整し、重なった果実や小玉果、スレ果を間引く摘果を実施してください。

●仕上げ摘果

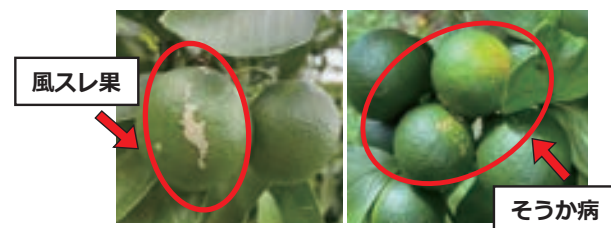
早生では基本的に8～9月の摘果は、階級や果実品質を揃えることを目的とした仕上げ摘果になります。風スレ果や小玉果、粗皮果、外観不良果などの出荷基準に満たない果実を徹底的に落とし適正葉果比に合わせていきましょう。

葉果比の目安(収穫時)

早生	葉数:25～30枚に1果
青島	葉数:30～35枚に1果

＜徹底して落とす果実＞

風スレ果、小玉果、粗皮果、腰高果、病害虫被害果、外観不良果など、出荷基準に満たない果実



3. マルチ資材の被覆

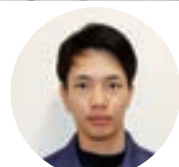
近年、秋雨による品質・体質低下が多い傾向となっています。マルチ被覆を行い、着色促進・果実内容の向上に努めましょう。7月は果実肥大期になりますので、過度な乾燥には注意して、樹の状態を見て必要であれば灌水を実施してください。※マルチ実施園では収穫後灌水、葉面液肥を散布して樹勢の回復をしてください。

品種	被覆時期
早生	7月上旬～8月下旬(土壌水分があるときに実施する)
青島	8月上旬～9月上旬(秋雨前に実施する)

4. 灌水の実施

梅雨明け後、1週間程度降雨がない場合や降雨予想がない場合は、早めに灌水を実施し、樹勢の維持に努めてください。

目的	灌水量の目安(週1回、10aあたり)
発芽促進・樹勢維持	8～10トン
果実内容重視	3～4トン
マルチの場合	2～3トン



柑橘課
近藤 海斗

6/11

シャインマスカット シーズン到来

8
働きがいも
経済成長も



園地巡回では部会員全員で課題や質問を共有

三ヶ日産シャインマスカットのシーズンが間もなく始まります。香り高く上品な甘みで皮ごと食べられることで人気のシャインマスカットを、三ヶ日町の新しい特産物にしようと三ヶ日ぶどう部会が発足して6年。現在6軒の農家が仕上げに向けて取り組んでいます。

6月11日には園地巡回を行いました。この巡回は産地としての品質向上を目指し、お互いの園地を見て部会員同士が課題や意見交換をする場で、生産者や市場関係者ら約20人が参加しました。高平政和部会長は「現在生育は順調で、昨年より多めの8トンを出荷目標に、部会全員で丁寧な栽培管理に取り組んでいる」と話しています。市場への出荷開始は7月中旬予定です。

農協特産物直売所では8月7日(金)8日(土)にシャインマスカットフェアを開催します。旬の味覚をぜひ味わってみてください。

5/19

平山小校内 自転車記録会

8月の「交通安全こども自転車全国大会」に静岡県代表として出場する平山小学校で、校内自転車記録会が開催されました。部長の清水麻菜さん(6年)は「自分は学科が苦手なので、本番までに間違いを減らせるようにしたい。全国大会では今までの練習の成果を発揮して頑張りたい」と抱負を話しました。



交通安全指導員が採点し、本番さながらの記録会

5/18,20
6/11

農青連食農活動

食農活動に力を入れる農青連では、各支部の盟友が地元の小学生と協力し、サツマイモやトウモロコシの栽培を行っています。5月には平山小、尾奈小、6月には東小で苗植えや種まきを行いました。今後は秋と一緒に収穫を行います。



平山支部はフレミズ「みかんちゃん」と一緒に食農活動



尾奈支部は、尾奈小と尾奈幼稚園年長さんも一緒に苗植え



東部支部は東小3年とトウモロコシの種まき一緒に苗植え

組合員資格確認のお願い

下記の場合、定款第14条(※)の定めるところにより、お手続きが必要になります。

- 名義を変更した
- お届けのご住所に変更があった
- 組合員資格区分が変動した

【組合員資格区分】

正組合員	耕作農地が10a以上ある者、 又は農業に90日以上従事する者
准組合員	上記以外の者等(町内在住者に限る)

- 組合員資格を喪失した(死亡、町外転出等)

組合員資格に変動があった場合はお手数ですが、早急に申請手続きをしていただきますようお願い申し上げます。詳しくは総務課までお問い合わせください。

(※)定款第14条

組合員は(中略)、組合員たる資格を失い若しくはその資格に変動があったときは、直ちにその旨を書面でこの組合に届け出なければならない。

サマーフェスティバル開催予定

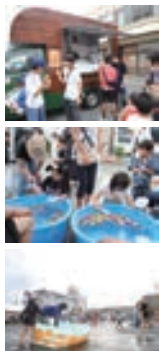
サマーフェスティバルを開催します。

と き 8月22日(土)
16:00~20:00
(催事受付は19:30まで)

と ころ プレオみっかび前

農協のサマフェスは水遊び、ゲーム、グルメなど楽しい催しがたくさんあります♪

※イベント内容の詳細は
同封のチラシをご覧ください



●総務課

「JA組合員ドック」申込みについて

すべての組合員および同居親族の方を対象に「JA組合員ドック」の受診受付をしています。

取りまとめ期間 ~8月末日まで

受診場所 遠州病院(健康管理センター)

価 格 組合員価格 特別価格
24,200円 → 16,200円(税込)
(JAみっかびの助成制度により特別価格にて受診できます)

●共済課

支部座談会について

令和8年度農協支部座談会を下記日程のとおり、夜7時30分からそれぞれの会場で行います。詳細は案内文書でご確認ください。

開催日	支部	地区	会場
15日(水)	大福寺		大福寺コミュニティセンター
16日(木)	三ヶ日	三ヶ日6区	ふれあいセンター2階第1研修室
	南平		B&G海洋センター1階会議室
	西平		西平会館
	駒場		駒場自治会館
17日(金)	津々崎		津々崎コミュニティセンター
	御菌		御菌公民館
	釣		釣公民館
	日比沢		日比沢集落センター
21日(火)	宇志		宇志公民館
	本坂		本坂公民館
	下尾奈		下尾奈集落センター
	北平		北平公民館
22日(水)	只木		夢寂寺
	上尾奈		上尾奈コミュニティセンター
	大崎	大崎東、南、西	大崎自治会館
23日(木)	平山		平山公民館
	鶴代		鶴代公民館
	大谷		大谷公民館
24日(金)	岡本	岡本6組	岡本公民館
		分寸西、分寸東	分寸公民館
27日(月)	佐久米		佐久米公民館
	摩訶耶		摩訶耶公民館
	長根	奥・中・坂上	長根防災センター1階
	長根	坂下・前・東・8・9	長根防災センター2階
	野地		野地公民館
28日(火)	新田		新田公民館

●三ヶ日町農協

葬儀、法事、墓石等のご相談について

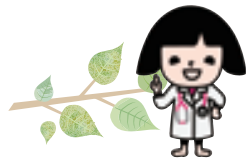
葬祭センターでは、随時ご相談を受け付けています。些細なことでも構いませんので、気軽にお声掛けください。なお、ご来店前に連絡をいただくとありがたいです。

と ころ ふれあいセンター1階

お問い合わせ TEL525-1017

●組合員生活課 葬祭センター

JA組合員の皆さまへ



皆さまこんにちは。JA静岡厚生連遠州病院院長の大石 強です。組合員の皆さまには、日頃より当院運営に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当院は浜松市中心部に位置し、急性期病棟と回復期リハビリテーション病棟を備えたケアミックス型の病院であり、急性期治療からリハビリ、そして在宅医療を行う地域包括ケアシステムの構築を目指しております。回復期リハビリテーション病棟では、質の高いリハビリテーションを提供することにより、早期の社会復帰に貢献しております。在宅医療では、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションを有しており、住み慣れた地域で充実した生活が送れるようサポートしております。また、救急医療につきましても注力しており、昨年度は救急車の受け入れ件数が5000件を突破いたしました。

現在、我が国は少子高齢化に拍車がかかり2040年には高齢者人口が最大となり、3人に1人が高齢者という時代を迎えます。県内の予測人口動態では、くに県西部地区での85歳以上の高齢者人口の増加が著しいと予測されており、今後は高齢者救急の需要が高まります。近隣開業医や施設との連携を図り、高齢者

救急医療に尽力してまいります。

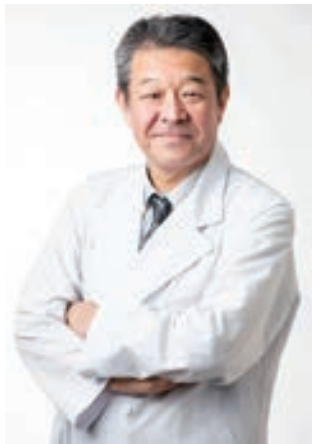
令和8年度がスタートいたしました。今年度当院では、がんの最新治療として手術支援ロボットを導入しました。泌尿器科、外科、産婦人科での一部手術で適用され、術中のより正確・安全な操作が可能となり、患者さまの術後の早期回復に寄与いたします。

地域の皆さまとの交流では、2か月に1度の市民公開講座、秋には学術講演会も開催いたします。当院の各診療科での最近の話題や、とくに力を入れている分野につき講演させていただいております。

学術講演会では、その時代に合わせた話題について講演を賜り、懇親会では地元の皆さまも参加していただき食事をしながら意見交換を行っております。今後とも皆さまに健康への意識向上や予防に役立つ情報を提供していきますので、JA組合員の皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、当院の理念『心と心がふれあう医療』の実践に向け、常に患者さまに寄り添った医療を提供することを心掛け、「遠州病院で受診して本当に良かった」と思っていただけでも心誠意努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



JA 静岡厚生連 遠州病院
病院長 大石 強

6/19 理事会提出議案

- (1) 令和7年度業務報告書及び連結業務報告書について
- (2) テレキューブの完成検査について

5/26 理事会提出議案

- (1) 県常例検査「検査結果の通知事項に対する改善対応報告」について
- (2) 令和7年度決算関係書類及び部門別損益計算書の承認について
- (3) 第65回通常総代会議案等について
- (4) 三ヶ日町農業協同組合准職員就業規則及びパートタイマー就業規則の一部変更について
- (5) 固定資産(エルフMIO)の取得について
- (6) 令和8年度農協支部座談会について
- (7) 固定資産(ふれあいセンター1階エアコン更新工事)の取得について

年金相談会・金融なんでも相談会

と き 9月26日(土) 9:00～15:00

と ころ 本所 金融課

ローン・年金・相続などのご相談各種手続きをお取り扱いします。年金相談は事前にお申し込みが必要となりますので、金融課・都筑支所にお問い合わせください。ただし、現金などお取り扱いできない業務もありますので、ご了承ください。

●金融課・都筑支所

親元就農セミナーについて

営農支援課では、三ヶ日みかん産地の維持拡大を目的とした「親元就農セミナー」を下記の日程で開催します。近い将来、親元就農を予定されている方などのご参加をお待ちしております。

と き 9月2日(水)
13:30～

と ころ 営農センター 大会議室

持 ち 物 筆記用具

●営農支援課

特産物フェア

特産物フェアを開催します。

期 間

○シャインマスカットフェア
8月7日(金)、8日(土)

○イチジクフェア
8月14日(金)、9月20日(日)

時 間 9:00～

と ころ 特産物直売所

「ミカちゃんファーマーズ」

※無くなり次第終了します。天候不順等により十分な数が確保できない場合がありますので、ご了承ください。

●特販課 農産センター

アグリワーク＜収穫＞の求人募集予定について

アグリワーク＜収穫＞の求人募集は、8月にJAポータルで行います。希望される方は、下記の手順でお申込みください。

1. JAポータルの募集案内に、期限内に「希望する」の回答を行う
2. 9月組合員宅訪問にて配布される「求人票」に、必要事項を記入する
3. 求人票をFAXまたは直接、期限内に営農支援課へ提出する

※JAポータルの回答のみでは、申込は完了しません。必ず求人票をご提出ください。

●営農支援課

スマホの操作、不安はありませんか？

組合員向けのスマホ教室を開催しています。電源を入れる基本操作から、よく使うLINEの操作まで学べます。日常や災害時に備え、スマホを安心して使ってみませんか。なお、8月より定員が7人となりました。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

※応用編の講座はJAポータルでのみ募集しています。

●広報センター

フレッシュミドルカレッジ 7期生募集

農協女性部が「フレミド7期生」を大募集!「フレミド」とは地元の女性を対象にした講座で、同世代との交流を通して仲間づくりをする会です。

対 象 町内在住の50才までの女性

費 用 入学金500円(講座ごとに別途材料費)

受講期間 2026年9月～2028年6月
(2年間で12回の講座を予定)

申込締切 8月28日(金)

お問い合わせ 女性部 TEL053-525-1099



※お申し込みは
下記QRコードより
※託児有り



●組合員生活課 女性部

新商品「三ヶ日みかん」ジュース 青島ミカン果汁100%瓶入り

三ヶ日みかんの主力「青島ミカン」を100%使用したストレート瓶ジュース1Lの大容量サイズで新発売!

発 売 日 7月13日(月)

価 格 1,150円(税別)

販 売 場 所 特産物直売所ほか

●特販課

直売所だより by特販課

特産物直売所から旬な果物の販売のお知らせです。

山梨県「JAフルーツ山梨」から仕入れた桃を数量限定で販売します。昼夜の寒暖



差によって1玉1玉においしさがギュッと凝縮しています。目利きのプロも唸るプレミアムな逸品を、この機会に是非お買い求めください。

※販売は特産物直売所のみです。特産センターや電話、ネットでの購入はできません。
※桃は無くなり次第終了です。 ※画像はイメージです。

と き 7月24日(金)以降販売開始を予定
※生育状況により変更の可能性があります。
詳しくは直売所へお問い合わせください

と ころ 特産物直売所(9:00～17:00)
※水曜日定休

お問い合わせ JAみっかび 特産物直売所
TEL: 053-525-1040